



## I 第 4 週の発生動向 (2026/1/19~2026/1/25)

- インフルエンザについては、三戸+八戸市保健所管内の定点当たり報告数が新たに**注意報レベル**となりました。また、上北保健所管内で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が再び増加していますので、引き続き新型コロナウイルス感染症の予防も兼ねて、ワクチン接種を含めた基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「風しん」です。最終ページに掲載しています。

## II 第 4 週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	79	7.18	52	5.20	159	15.90	14	2.33	181	20.11	39	6.50	524	10.08	211
	新型コロナウイルス感染症	19	1.73	35	3.50	52	5.20	20	3.33	43	4.78	23	3.83	192	3.69	81
	急性呼吸器感染症	776	70.55	353	35.30	496	49.60	285	47.50	582	64.67	338	56.33	2830	54.42	623
小児科	RSウイルス感染症	4	0.67	3	0.50	3	0.43	7	1.40	1	0.17			18	0.53	-4
	咽頭結膜熱	3	0.50	1	0.17	4	0.57	1	0.20			1	0.25	10	0.29	8
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	1.50	17	2.83	16	2.29	6	1.20	8	1.33	3	0.75	59	1.74	27
	感染性胃腸炎	26	4.33	30	5.00	73	10.43	15	3.00	20	3.33	8	2.00	172	5.06	44
	水痘	4	0.67	1	0.17			2	0.40			3	0.75	10	0.29	4
	手足口病															0
	伝染性紅斑			1	0.17									1	0.03	1
	突発性発しん	2	0.33			3	0.43			1	0.17			6	0.18	-3
	ヘルパンギーナ															-1
	流行性耳下腺炎	2	0.33											2	0.06	2
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.10	1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎							2	2.00					2	0.33	-3
	無菌性髄膜炎															0

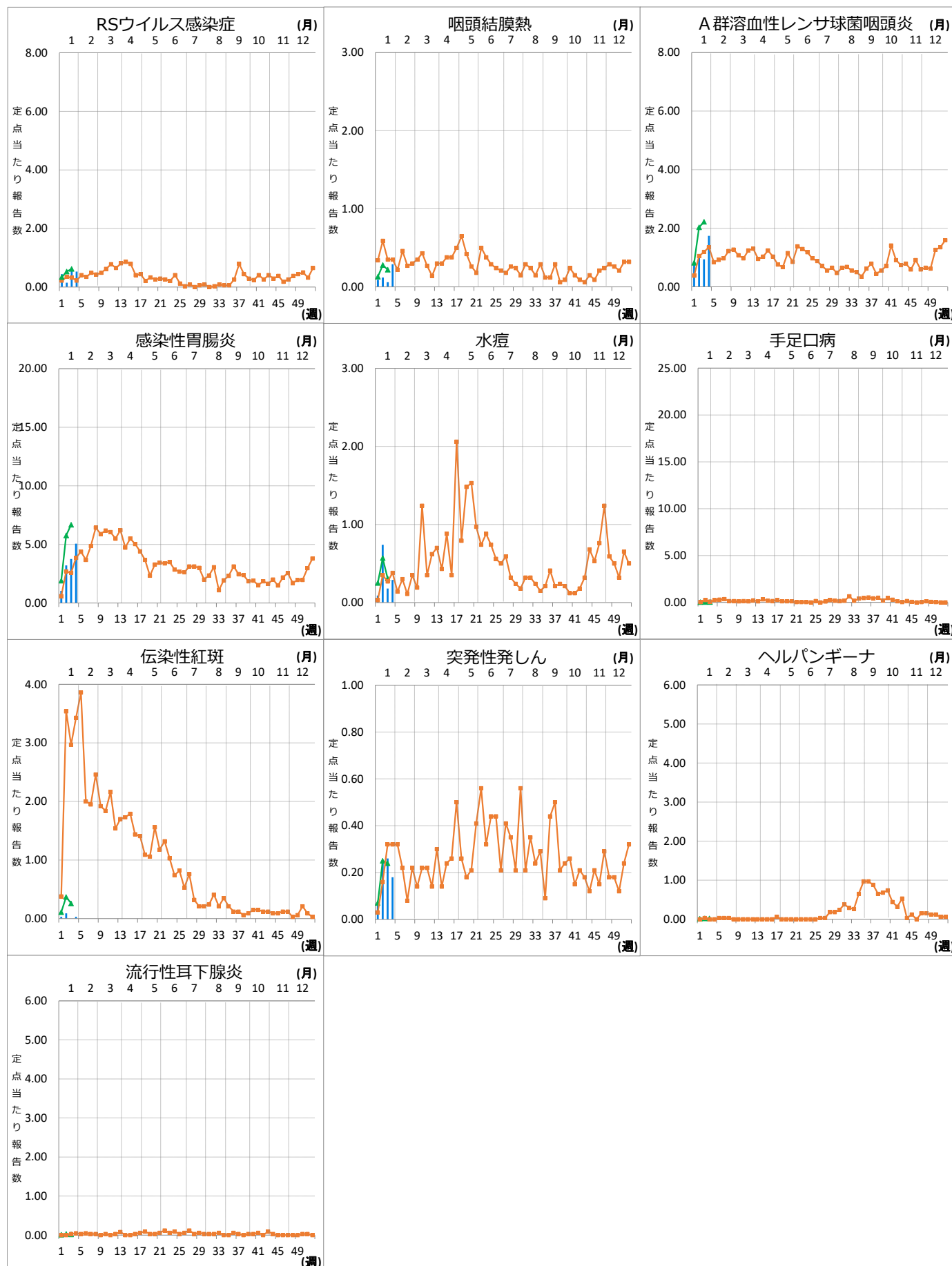
## III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2026 年第 4 週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は 2026 年青森県、 は 2025 年青森県、 は 2026 年全国

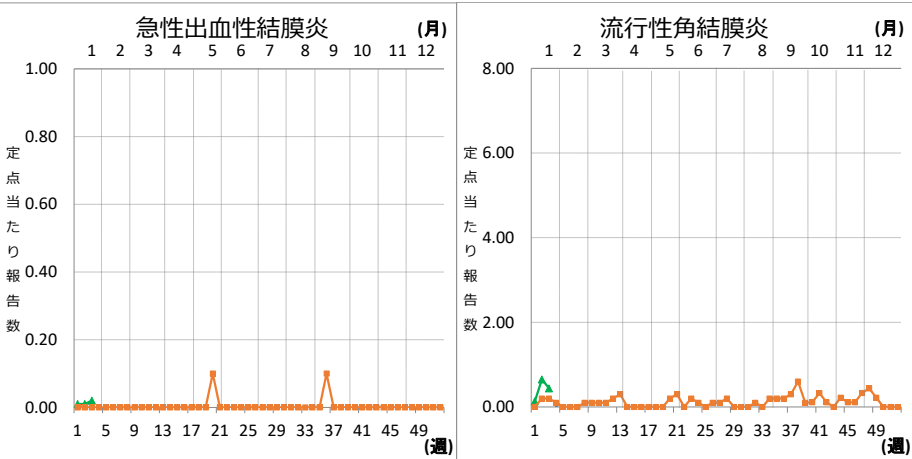


#### Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026 年第 4 週、ただし全国は前週）

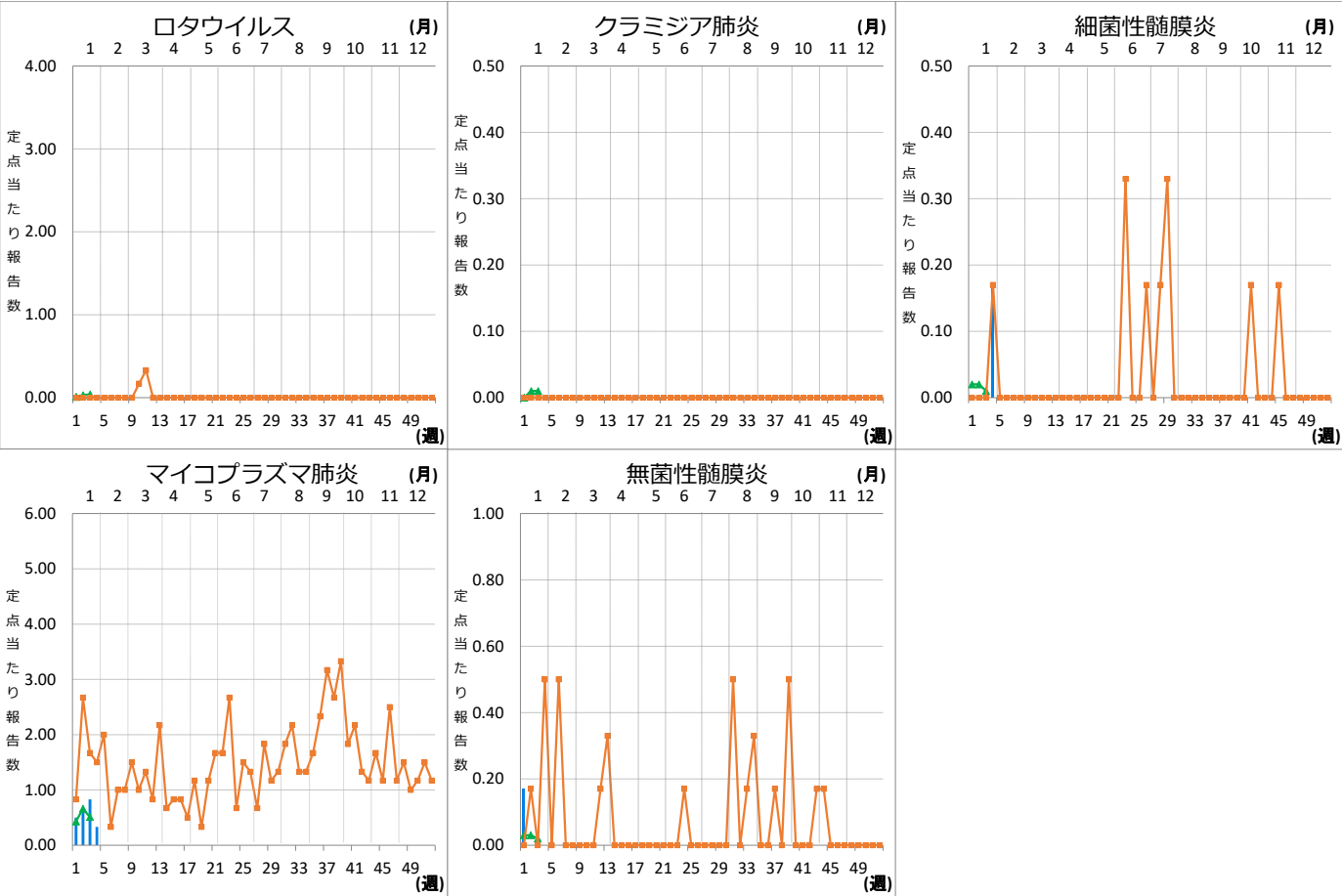
グラフの説明  は 2026 年青森県、 は 2025 年青森県、 は 2026 年全国



V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026 年第 4 週、ただし全国は前週）  
 グラフの説明👉——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2026 年第 4 週、ただし全国は前週）  
 グラフの説明👉——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国



マイコプラズマ肺炎

(月)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

6.00

5.00

4.00

3.00

2.00

1.00

0.00

定

点

当

た

り

報

告

数

1

5

9

13

17

21

25

29

33

37

41

45

49

(週)

無菌性髄膜炎

(月)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

1.00

0.80

0.60

0.40

0.20

0.00

定

点

当

た

り

報

告

数

1

5

9

13

17

21

25

29

33

37

41

45

49

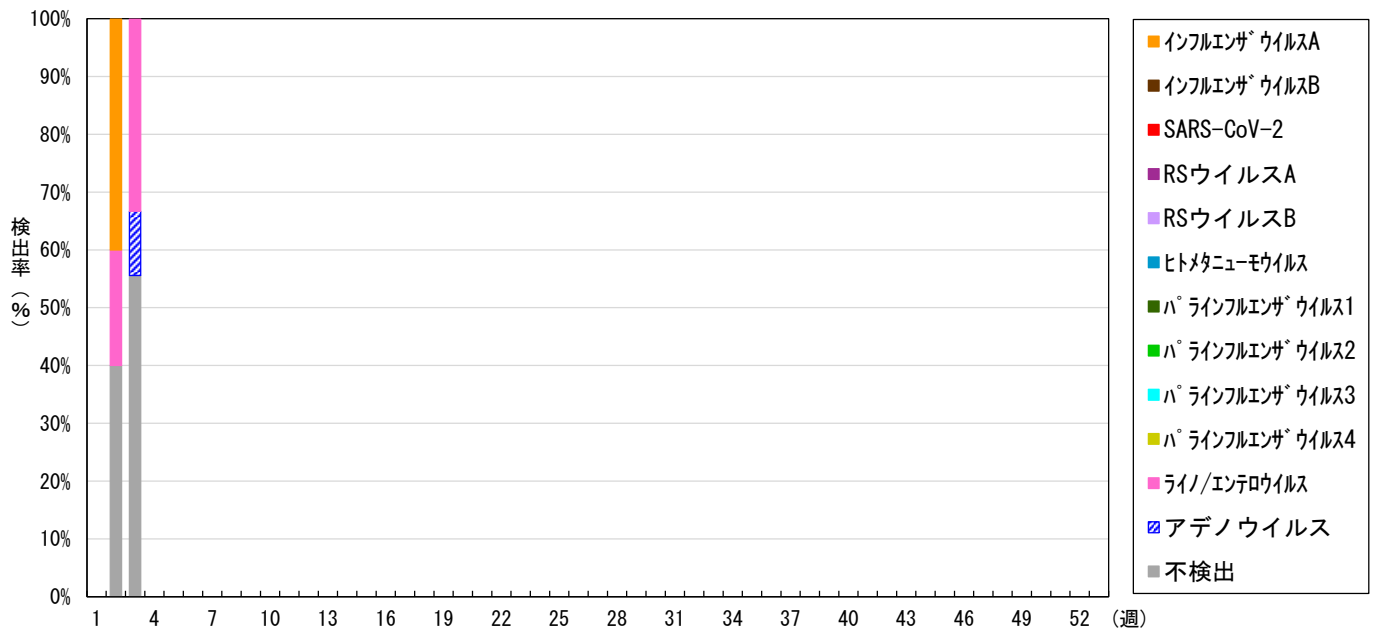
(週)

VII 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2026 年第 1 週～4 週)

急性呼吸器感染症	2026年							
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週
提出検体数	0	5	9	7				
インフルエンザウイルスA	0	2	0					
インフルエンザウイルスB	0	0	0					
SARS-CoV-2	0	0	0					
RSウイルスA	0	0	0					
RSウイルスB	0	0	0					
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0					
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0					
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0					
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0					
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0					
ライノ/エンテロウイルス	0	1	3					
アデノウイルス	0	0	1					
不検出	0	2	5					
検査待ち	0	0	0	7				

(2) 検出された病原体の週別推移 (2026 年第 1 週～3 週)



# VIII 全数把握対象疾患発生状況（第4週）

- ・結核（二類感染症）：八戸市1人 (2026年計：6人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）：中南1人 (2026年計：2人)

# IX 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2026年第1週～2026年第4週）

週	東青 （東津軽保健所+ 青森市保健所）	中南 （中南保健所）	三八 （三戸保健所+ 八戸市保健所）	西北 （西北保健所）	上北 （上北保健所）	下北 （下北保健所）
1						
2	劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人 水痘（入院例）1人 百日咳1人	侵襲性インフルエン ザ菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染 症1人	結核1人 水痘（入院例）1人		腸管出血性大腸菌感 染症1人	
3	水痘（入院例）1人		結核1人 水痘（入院例）2人		結核2人	結核1人
4		侵襲性肺炎球菌感染 症1人	結核1人			

第2週に、水痘（入院例）の届出が青森市保健所管内で1件ありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2026 年第 1 週～第 3 週までの累計）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	エムボックス	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	マラリア
累積報告数	507	2	91	26	5	2	19	6	1	1

分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	120	1	20	9	38	1	14	3	7	79

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	30	1	32	4	193	45	426	9	5	5

分類	五類	五類	五類
疾病名	百日咳	風しん	麻疹
累積報告数	599	1	4

青森県（2026 年第 1 週～第 4 週までの累計）

分類	二類	三類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	百日咳
累積報告数	6	1	1	1	2	5	1

XI 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日  
感染性胃腸炎患者（直腸ぬぐい液、12/17）・・・ヒトボカウイルス：青森市 1 人

XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026 年第 4 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第4週	介護・老人福祉関係施設	22	八戸市保健所
第4週	児童・婦人関係施設等	20	八戸市保健所
第4週	児童・婦人関係施設等	35	青森市保健所

2026 年報告件数及び症者数

施設種別	月(週)	1月					2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1週	2週	3週	4週	5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	49-52週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	0	1													2
	発症者数	15	0	0	22													37
児童・婦人関係施設等	件数	0	1	0	2													3
	発症者数	0	23	0	55													78
障がい関係施設	件数	0	0	0	0													0
	発症者数	0	0	0	0													0
その他施設	件数	0	0	0	0													0
	発症者数	0	0	0	0													0
計(月別)	件数	5																5
	発症者数	115																115

感染症の窓

風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる感染症で、2～3週間の潜伏期間の後、発熱、発疹、リンパ節の腫れなどの症状があらわれます。主な感染経路は、飛沫感染と接触感染で、発疹が出る前後1週間でウイルスが排出されるので、発症前から感染力があります。

風しんに対する免疫が不十分な女性が妊娠初期（20週以前）に風しんに感染すると、先天性心疾患や難聴、白内障等の先天異常を含む様々な症状を発症する、「先天性風しん症候群」の赤ちゃんが生まれてくる可能性が高くなるため、妊婦は特に注意が必要です。

風しんの予防にはワクチン接種が最も有効ですが、妊娠中はワクチン接種が受けられないため、抗体を持たない妊婦や抗体価の低い妊婦は、可能な限り、人混みを避けるなど風しんにかからないよう注意してください。また、風しんは感染力が強いため、妊婦の周りにも、風しんに感染しないよう予防に努めましょう。

妊娠を希望される方とパートナー、同居家族の方は、積極的に風しんの抗体検査を受け、抗体がない、または抗体価が低い場合は、ワクチン接種をお願いします。

○風しん抗体検査を実施しています！（青森県庁 HP）

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [風しん\(厚生労働省 HP\)](#)



風しん

まだ見ぬ  
こどもたちのために  
できること

「妊娠を希望される方」と「パートナー」「同居家族」等は、  
**風しんの抗体検査**を受けましょう。妊婦が風しんにかかることで、  
「先天性風しん症候群」をもったこどもが生まれることがあります。

厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

出典：厚生労働省 HP